

令和6年度北栄町男女共同参画審議会 意見集約結果

開催形式	書面
【議事】第4次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組状況について ■意見①（委員） 大栄赤十字奉仕団として、30年以上長きにわたり、「愛の声かけ活動」を続けてきた。団員の高齢化などで、団員の負担が大きくなり、令和7年度からは各地区ごとに活動していく予定。また社協の方で「食でつながるプラットフォーム」に参加し、一人暮らしの方に声かけをし、一緒に食事を作って、食事しながら話をして過ごした。個人的には、いきいきサロンのスタッフとして、各行事に参加をしたり、「こけない体操」にも参加をしたりしている。 ⇒長年継続されている「愛の声かけ活動」やいきいきサロンなどへの積極的なご参加、ありがとうございます。今後の活動も町としてできる支援をさせていただきます。 ■意見②（委員） 基本的施策で女性登用を促進するとのことであり、当然のことと思う。本来男性が登用されるべきところを、施策に捉われて、女性登用を優先するという男女共同参画の美名により、逆差別ということはないか。田舎の地域の実情を加味せず、建前はいいがなもののか。 ⇒女性登用促進は、女性が活躍できる社会を目指すものであり、決して性別のみを理由に優先するものではありません。 ご指摘の逆差別については、そのような事態にならないよう、十分に配慮して施策を進めてまいります。また、北栄町の状況を踏まえ、柔軟な働き方の支援や、女性が活躍しやすい環境づくりなど、実情に合った取り組みを進めてまいります。 男女共同参画は、女性だけでなく、男性にとっても、それぞれの能力を活かせるより良い社会を目指すものです。ご理解とご協力をお願いいたします。 ■意見③（委員） 資料の「令和6年度 第4次北栄町男女共同参画基本計画 実施状況」P14では、「社会通念・慣やしきなどにおいて男女の地位が平等であると考える人の割合」、及び「男女共同参画フォーラムの男性参加率」が低く、継続的な普及啓発が必要と考えます。 鳥取県では、令和7年度に男女協働による未来創造に向けて「男女協働未来創造本部」を創設します。県民の皆様の声を県政にいかすために、男女共同参画に関する意見交換の場を増やしていく予定です。これらの場を活用していただき、「男性に男女共同参画に関心を持っていただく方法」、「具体的にどのような点で不平等と感じるか」、「どうすれば少しでも解決に結びつけることができるか」などの意見交換の場として活用していただきたいと思います。 ⇒男女共同参画フォーラムの主催である女性団体連絡協議会と協力しながら、継続的に普及啓発に努めたいと思います。	